



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

一宮ライオンズクラブ

国際会長スローガン 「We Serve (われわれは奉仕する)」

一宮LCスローガン 『 奉仕の輪 明るい未来へ ウィ・サーブ 』

第 1614 回例会

2024~2025

No. 5



地区ガバナー L 柴田高志

公式訪問 1Z・2Z 合同例会



と き 2024 年 9 月 11 日 (水)
合同例会 15:15~17:00
ところ 豊田合成記念体育館 ENTRIO
コンベンションホール
ホスト 一宮ライオンズクラブ
海部ライオンズクラブ

柴田高志地区ガバナープロフィール

所属クラブ 2R 1Z 豊橋ライオンズクラブ

生年 月日 1957 年 9 月 12 日生まれ

現 職 柴田祥雲堂(しばたしょううんどう)代表取締役

● ライオン歴

2005 年 2 月 豊橋ライオンズクラブ入会
2014-2015 年度 クラブ幹事
2016-2017 年度 クラブ第一副会長
2017-2018 年度 クラブ会長 (60 周年)
2021-2022 年度 2R1Z ゾーン・チェアパーソン
2022-2023 年度 第二副地区ガバナー
2023-2024 年度 第一副地区ガバナー

● アワード

国際会長感謝状 3 回
LCIF 理事長感謝状 1 回
GAT 感謝状 1 回
MJF 寄付 32 口



第4回理事会報告

と き 2024年8月27日(火) 13:30
ところ 一宮商工会議所ビル 4階 401

出席者

Ｌ野寄 Ｌ吉江 Ｌ高橋敬 Ｌ久保 Ｌ水野
Ｌ野村政 Ｌ矢田 Ｌ大山 Ｌ青山 Ｌ中川
Ｌ西尾 Ｌ尾上 Ｌ坂井田 Ｌ古川 Ｌ佐藤彰

議題

1. 3R 第1回家族及び女性(FWT)委員長会(8/5)報告 会員増強・会則・スペシャルティクラブFWT委員長 西尾建一郎

稲沢商工会にて開催され、Ｌ藤井智香子地区FWTコーディネーターの挨拶があり、委員会報告・3R委員活動方針並びに活動計画。各クラブ活動報告がありました。

地区FWT委員会活動計画の中で、女性会員セミナー10月7日、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて昼食をとりながら開催予定。

奉仕活動として、ヘアードネーション・引出しに眠る外貨の活用・子どもの未来基金を行うとの報告がありました。

2. チャリティゴルフ準備委員会(8/7)報告

親睦委員長 尾上宜正

参加費込みの清算確認(メンバーはプレー代清算、参加費別途徴収)

参加費の振込対応は無し

ショートホールでのイベント・チャリティーBOX無し(受付時にチャリティーして頂く)

参加申し込みの締め切りが8月30日、まだ数少ないが、改めて参加呼びかけしてゆく又協賛も併せて呼びかけてゆく(目標80口)

次回準備委員会は9月10日理事会終了後開催

3. 公益財団法人日本ライオンズへのご協力お願い

会長 野寄章

地区名誉顧問・元ガバナー 大山より説明があり、クラブより一口2000円×109人(正会員)を緊急援助資金より拠出することを承認されました

4. 地区若手リーダー育成研修会(10/2・3)選出について

ZC 佐藤彰

理事会の推薦により、大島基睦・酒井是和・尾上宜正3名に野寄会長からお声かけして頂く。

又、登録費20000円×3名分の拠出に対して承認されました。

5. その他

- 24-25 薬物乱用防止教育認定講師養成講座(10/8)について

大島基睦・永井英子・岡寄かおり・井尾公治・柴垣幹夫・柏井祐介に受講して頂く。
今後も積極的に各メンバーに受講していただく。

- 24-25 冬期YCE 生候補者 伊藤愛佳さんについて
ZC 佐藤彰より報告があり、会長時代に英語スピーチコンテストにて優勝された伊藤愛佳さんが無事ヨーロッパ派遣に決まりました。
以前から予算取りをしていた150000円も拠出する報告があり、理事会にて承認されました。

- 中日新聞社広告 のびゆく一宮市祝「新学校給食センター」について

8月に4LCは開催されなかったが、一宮LCとしては、広告対応として掲載して頂き、1クラブ16,088円も拠出を承認されました。

第61回東洋・東南アジア・フォーラム

と き 2024.11.14~17

ところ タイ パタヤ

早期申込締切 9/30まで \$130



国際協会は会則で七つの地域(Area)に分けられており、日本は「東洋東南アジア」に含まれている。

東洋東南アジア・フォーラムは親善を深めることを主目的としてこの地域内のライオンズクラブ代表の参加によって開催され、この地域に共通の問題点を話し合っています。

●参加に希望の方は事務局までお申し込み下さい。

stans co.,ltd
(有) スタンス
岐阜県各務原市川島小網町2146-37
TEL (0586) 89-6411
Ｌ池田利昭



トーテックグループ

〒491-0858
愛知県一宮市栄3丁目2-12 一宮駅東口ビルが東
TEL 0586-73-2109 FAX 0586-73-2107

Ｌ石川英明

第48回献血奉仕例会

【第1613回例会】

と き 2024年8月28日(水) 9:30~15:30

ところ 真清田神社 参集殿

第48回献血奉仕例会が開催されました。台風の心配をしておりましたが皆さんのパワーで台風がそれ、無事開催できたことに喜びを感じます。



本年度もし 榊林のお力を借り真清田神社の参集殿での開催となりました。会場が広く多くの方の採血、又それに伴う流れがよく、応援に駆けつけていただいた3R保健福祉委員と奥村にもこれはいい流れ、参考にしたいとおっしゃっていただきました。

当日は朝9:30より沢山の方にご来場をいただき皆様の呼びかけのおかげをもちまして、当日の来場者受付は303名、献血できた方が187名、骨髄バンク新規登録者が3名あり、盛大に終わることができました。

献血はとても重要な行為、多くの人々の命を救うために健康な人が自発的に血液を提供する、そんな機会を我々ライオンズクラブが主催することのすばらしさを私も感じることができました。

前日から日本赤十字社、保健委員会、またその他の方の設営準備又各メンバーから献血の呼びかけや沢山のご協賛をいただき誠にありがとうございました。

保健委員長 大島基睦



国際会長メッセージ

奉仕のストーリーを分かち合おう

国際会長 ファブリシオ・オリベイラ

ライオンズの皆さんへ

私たちの奉仕は類のないものであり、その活動を通して私たちが織り成すストーリーもまた非凡なものです。奉仕の一つひとつに語る価値のあるストーリーがあり、発表の場もこのライオン誌だけではありません。ライオンズである私たちには、自らのストーリーを世界と分かち合うための独自の機会があります。

大小を問わず、あらゆる事業は意欲と感動を呼び起こす力を秘めています。私たちが、奉仕を受ける人々や、我が家とか古里と呼ぶ場所にインパクトをもたらそうと新しい取り組みに乗り出す瞬間から、その道のりの一步一步が語られることを待つ物語になります。ぜひ皆さんのストーリーを伝えてください。しかも、より頻繁に。インパクトのある写真、ビデオ、体験談を織り交ぜて、皆さんのストーリーに命を吹き込んでください。ライオンズクラブ国際協会の公式ウェブサイト(lionsclubs.org)には数々の優れたリソースもあり、皆さんの言葉を広めるのに役立つでしょう。

一人ひとりが全力を尽くして、私たちの奉仕をPRしようではありませんか。私たちがライオンズとして人々の暮らしと地域社会を変えている様子を目にしてもらえれば、自分も加わりたいと思う誰かの気持ちをかき立てることが出来るはずです。それもまた、私たちが世界に足跡をしるすもう一つの方法です。奉仕の心で



第1613回例会アテンダンス報告

会員数 264名

正会員 109名 賛助会員 12名

特典会員 143名

例会出席対象会員数 121名

出席者 65名 (メーク・アップ 0名)

出席率 54%

一宮ライオンズクラブ継続アクティビティ

会 長 ・ 幹 事	回数	年 月 日	献血者数	採血者数	不適者数	献血受付者数累計
宮 崎 ・ 佐 藤	1	S.52. 8.10	364	333	31	364
大 角 ・ 柴 田	2	S.53.10.27	241	221	20	605
神 田 ・ 横 井	3	S.54. 8.29	332	296	36	937
横 井 ・ 中 沢	4	S.55. 8.29	363	353	10	1,300
松 岡 ・ 宮 田	5	S.56. 8.28	632	573	59	1,932
渡 辺 ・ 村 上	6	S.57. 8.26	431	406	25	2,363
岩 田 ・ 森	7	S.58. 8.24	487	444	43	2,850
長 谷 川 ・ 奥 田	8	S.59. 8.24	480	438	42	3,330
村 上 ・ 村 橋	9	S.60. 8.23	464	441	23	3,794
柴 田 ・ 萬 谷	10	S.61. 8.22	479	441	38	4,273
中 沢 ・ 藤 本	11	S.62. 8.21	413	375	38	4,686
内 田 ・ 岩 崎	12	S.63. 8.24	433	406	27	5,119
佐 藤 ・ 田 中	13	H. 元. 8.25	600	549	51	5,719
宮 田 ・ 柳 田	14	H. 2. 8.22	667	610	57	6,386
森 ・ 池 戸	15	H. 3. 8.21	651	617	34	7,037
佐 々 木 ・ 奥 村	16	H. 4. 8.19	710	660	50	7,747
村 橋 ・ 築 城	17	H. 5. 9. 3	710	626	84	8,457
奥 田 ・ 祖 父 江 (俊)	18	H. 6. 8.24	795	729	66	9,252
祖 父 江 (俊) ・ 小 室	19	H. 7. 8.23	679	574	105	9,931
萬 谷 ・ 尾 関	20	H. 8. 8.28	543	443	100	10,474
井 ノ 口 ・ 加 藤	21	H. 9. 8.27	631	538	93	11,105
池 戸 ・ 田 中 (幸)	22	H.10. 8.26	651	522	129	11,756
田 中 (稜) ・ 松 山	23	H.11. 8.25	688	561	127	12,444
加 藤 ・ 稲 川	24	H.12. 8.23	675	555	120	13,119

会 長 ・ 幹 事	回数	年 月 日	献血受付者数	採血者数	不適者数	献血受付者数累計
松 山 ・ 坂 本	25	H.13. 8.22	616	504	112	13,735
森 ・ 則 竹	26	H.14. 8.28	586	433	153	14,321
稲 川 ・ 今 井	27	H.15. 8.25	548	424	124	14,869
阿 部 ・ 下 田	28	H.16. 8.25	531	382	149	15,400
田中(幸)・牛 田	29	H.17. 8.24	429	298	131	15,829
坂 本 ・ 杉 山	30	H.18. 8.23	402	285	117	16,231
則 竹 ・ 石 黒	31	H.19. 8.22	276	186	90	16,507
下 田 ・ 山 中	32	H.20. 8.26	309	226	83	16,816
青 山 ・ 奥 村	33	H.21. 8.27	417	317	100	17,233
大 島 (八) ・ 馬 場	34	H.22. 8.23	332	249	83	17,565
村橋(福)・佐藤(克)	35	H.23. 8.25	372	297	75	17,937
大 山 ・ 野 村 (政)	36	H.24. 8. 8	347	259	88	18,284
杉 山 ・ 五 藤	37	H.25. 8.20	448	317	131	18,732
山 中 ・ 佐 藤 (彰)	38	H.26. 8.21	315	258	57	19,047
石 黒 ・ 三 輪	39	H.27. 8.26	288	238	50	19,335
野 村 (政) ・ 西 尾	40	H.28. 8.24	480	269	211	19,815
伊 藤 (裕) ・ 立 川	41	H.29. 8.23	336	225	114	20,151
五 藤 ・ 野 寄	42	H.30. 8.22	315	189	126	20,466
佐藤(彰)・高橋(敬)	43	R1. 8.28	269	156	113	20,735
〃(4LC 合同献血)		R2. 6.2	106	85	21	20,841
小 川 ・ 久 保	44	R2. 8.26	165	125	40	21,006
〃(4LC 合同献血)		R2. 5.27	71	65	6	21,077
中 川 ・ 土 本	45	R3 8.25	154	131	23	21,231
西 尾 ・ 御 子 柴	46	R4 8.24	197	157	40	21,428
吉 江 ・ 矢 田	47	R5 8.23	224	177	47	21,652
野 寄 ・ 水 野	48	R6 8.28	232	187	45	21884

ライオンズ ニュース

命をつなぐ献血推進活動と学生ボランティアの支援

岐阜南ライオンズクラブ

7月18日、岐阜市の長良川国際会議場で第60回献血運動推進全国大会が開催され、日本赤十字社名誉副総裁である秋篠宮妃の紀子さま臨席の下、功労者の表彰や体験発表が行われた。この大会は献血運動の推進を図り、特に若年層に献血の機運を高めることを目的に、毎年7月の「愛の血液助け合い運動」の一環として開かれている。式典で体験発表をしたのは、岐阜県学生献血ボランティアとして活動する大学4年生の亀山友花さん。亀山さんは発表の中で、高校入学後にライオンズメンバーだった祖父の薦めでボランティアに参加したことや、他の高校や大学から集まった学生たちとの活動にやりがいを感じていることなどを述べ、次のように将来の夢を語った。

「祖父の背中を見てボランティアを始めた私も、来年の3月には大学を卒業します。まだ国家試験が控えていますが、看護師となって病院で働く予定です。早く一人前になって、献血していただいた血液を、安全に患者さんに届ける仕事ができることを夢見ています」。亀山さんの祖父は、4年前に故人となった長谷川正さん。岐阜南ライオンズクラブ(加藤憲会長/106人)の会員として30年以上にわたって献血活動に熱意を注ぎ、毎月1回の活動時には学生ボランティア一人ひとりを気遣いつつ、孫娘と一緒に参加することを楽しみにしていたという。



岐阜南ライオンズクラブは岐阜県赤十字血液センターと連携して1978年から献血推進活動を開始。少子高齢化が進む傍らで若年層の献血が減少していく中、長きにわたって力を入れてきたのが、献血学生ボランティアに対する支援だ。

クラブは市内の大学や高校を訪問して参加を募るなどして、ボランティアと共に月1回の活動を続けてきた。現在は市内の大型ショッピングモール・マーサ21で、毎月第3日曜日に献血活動を行っている。

7月21日、岐阜南ライオンズクラブの今年度最初の献血活動が行われた。この日は学生ボランティアに混じって、メンバーの古田さよ子さんの孫で小学4年生の瑠子さんも献血への協力を呼びかけたクラブメンバーは午前8時半にはショッピングモールに集合。強い日差しが照りつける中、駐車場にテントを張ると、配布用のティッシュや絆創膏(ばんそうこう)の準備を手際よく進めていった。真新しいテントは、2年前にクラブ結成65周年を記念して岐阜県赤十字血液センターへ寄贈したもので、学生ボランティアの休憩場所として活用されている。



活動するのは午前9時半から昼休みをはさんで午後4時までで、毎回、高校生と大学生のボランティア10~20人ほどが参加。クラブは交通費等の補助として半日参加は500円、1日参加は800円を支給している。また、休憩用に飲み物や菓子などを用意し、メンバーは学生たちの労をねぎらいながら彼らの話に耳を傾ける。冒頭の体験発表を行った亀山さんは、さまざまな年代の人と一緒に活動することが出来て良い経験になっていると話していた。

この日参加した学生の中に、今回が初めてのボランティア活動という高校3年の女子生徒がいた。看護学校への進学を目指していて、将来の役に立つ経験が出来ないかと調べるうちに献血ボランティアの存在を知ったとのこと。ボランティアに参加する学生には、彼女のように医療系の進路を志す高校生、大学生の他、社会貢献に興味を持つ学生が多い。日赤からはボランティア証明書が交付されるので、進学や就職活動で社会貢献活動の実績をアピール出来るメリットもある。現在、岐阜県赤十字血液センターには、献血学生ボランティアの経験を通じて赤十字の仕事に興味を持ち、就職した職員が2人いるそうだ。

